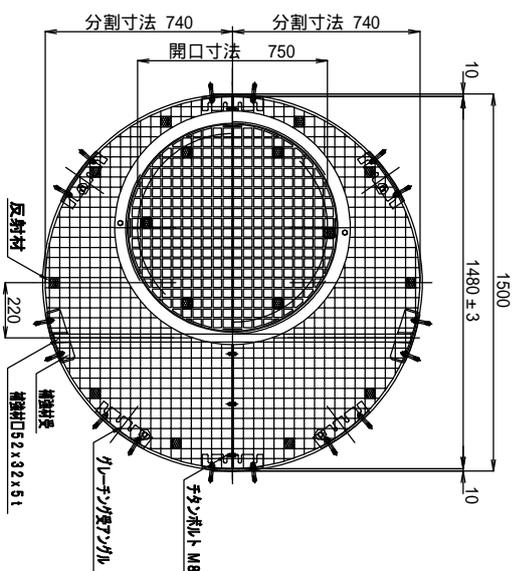
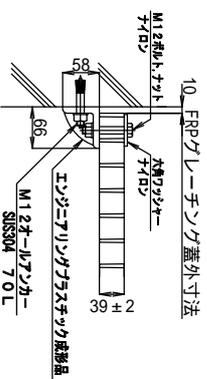


中間スラツ詳細図 S = 1 / 30

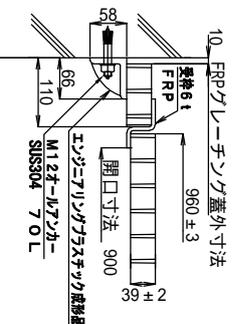
(単位：mm)



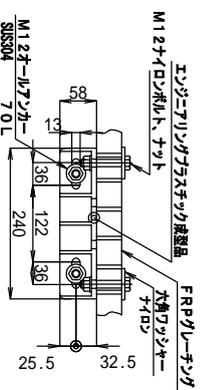
本体固定部 詳細図 S=1:6



端部断面詳細図 S=1:6 (φ900開口部)

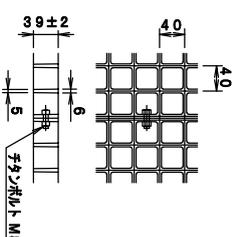


エンジンリフト用スラツ成型品 S=1:6

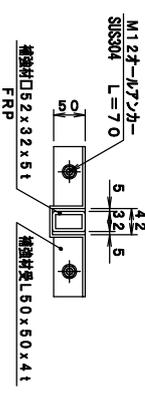


名称 中間スラツ標準図

FRPグレーチング詳細図 S=1:6 (ジョイント部)



補強材受詳細図 S=1:6



- 1 材料はステンレス等の耐食性を持つものを使用すること。
- 2 人孔内で中間スラツが外れないように対策を取ること。

【中間スラツの設置基準】

1. 中間スラツはマンホール鉄蓋よりインポートまでの深さが、8.0m以上の場合に設ける。内部副管用「中間スラツ標準図」6-30-1を参照すること。
2. 鉄蓋～中間スラツ～インポートの間隔は5mを超えてはいけない、これを超える場合さらに中間スラツを設けるものとする。
3. 中間スラツを設ける場合、仕切られた上下の室内は維持管理の作業性を考慮し、高さ方向に最低2.0mの空間を設けるものとする。
4. 中間スラツを設ける場合、マンホール径は原則1.5m以上とし、昇降口の径は75cmとする。また、中間スラツ、昇降口の材質等は、原則としてFRP製で格子状とし、耐荷重3.5KN/m²以上とする。
5. 中間スラツの昇降口の設置は鉄蓋と同一方向とする。
6. グレーチング蓋は、反射板付のものとする。